

PR36613

☆共JBN 外1058（産業、ディスプレイ）（09・10・16）

【産業担当デスク殿】36613

◎PCモニターで初のTCOエッジ認定獲得 レノボのL2251x

【北京15日PRN=共同JBN】レノボ社の「ThinkVision L2251xワイド」デスクトップ・コンピューター・ディスプレイは、情報技術（IT）設計における環境面と高性能での卓越性を意味するTCOエッジ認定を最初に獲得した製品となった。この認定はレノボが廃棄プラスチックからのリサイクルプラスチックを65%使用していることが認められたものである。このディスプレイはまたリサイクルされた包装素材を使用しており、ユーザーがコンピューターから離れるとエネルギー節約モードにする近接センサーを備えている。

マルチメディアの報道発表は以下のサイトを参照。

<http://multivu/prnewswire.com/mnr/tcodevelopment/40634/>

TCOエッジ認定は、すでにIT設計で環境とユーザーの双方に利益になっているかどうかの基準であるTCO認定を満たしている製品に対する補足認定である。この認定の目的は、既存のエコ認定プログラムでの必要条件をはるかに超えた最先端の製品、技術を識別することである。

TCO認定プログラムのマネジングディレクターであるセレン・エンホルム氏はレノボの努力を称賛して、「TCOエッジ認定はIT設計において環境と有用性の両面で本当に最先端を行っている製品を識別することによってTCO認定を超えるものである。レノボは『ThinkVision L2251xワイド』でリサイクルプラスチックを高い割合で使用することによって、グリーン設計の限界を破りその一方でユーザーの高い要求に応えるという素晴らしい指導性を発揮した」と語った。

レノボのビジュアルビジネス部門副社長のトム・シェル氏は「TCOエッジ認定はパソコンモニターについて環境責任と有用性での高い基準を確立することによって、製造業者がグリーン技術製品をつくり顧客がそれを採用するよう督励するのに役立っている。『ThinkVision L2251xワイド』モニターのようなTCOエッジ認定製品によって、エネルギーと素材効率を考えた設計がいかに環境と顧客のIT予算の役に立っているかをはっきり示している」と述べた。

ThinkVision L2251xワイドのその他の機能はレノボの削減、再利用、リサイクルというテーマに沿っている。

削減：エネルギー・スター5・0基準を29%も超えるエネルギー効率の良い白色LED技術近接センサーがエネルギー節約と原材料の使用削減を促進。より有害でない材料（ヒ素を使用しないパネルガラス、水銀未使用、低ハロゲン）。

再利用：プラスチック包装が変わるスタイリッシュで再使用可能なバッグ。

リサイクル：廃棄プラスチックからのリサイクル品を65%以上使用（注）。92%リサイクル品の包装素材。（注）シャーシ部分に使用。

▽TCO認定について

TCO認証は高性能で環境への影響を最小限にするようにも設計されているICT（情報通信技術）製品の第三者認証である。TCO認証制度は1992年以来、ディスプレイの画質および人間工学的改善とICT製品から放出される電磁放射線の削減に大きな影響を与えてきた。エネルギー効率と危険物質使用量の削減もまたTCO認証の重要な側面である。TCO認証プログラムがカバーする製品はノート型とデスクトップパソコン、ディスプレイ、電話用ヘッドセットで2009年以来プロジェクターも対象となった。TCO認証によってユーザーと環境の双方に利益となるよう設計された技術の選択が容易になる。TCOデベロップメントはTCO認証を支援する企業であり、スウェーデンのストックホルムに本社を置き、アジアと北米に地域拠点を持っている。詳しい情報は以下のサイトを参照。

<http://www.tcodevelopment.com>

▽レノボについて

レノボ（HKSE：0992；ADR：LNVGY）は技術的に優れたパソコンを製作することに注力している。レノボのビジネスモデルは革新、運用効率、顧客満足度と新興市場への投資に焦点を置いて構築されている。同社は旧IBMパソコン部門をレノボ・グループが買収したことに伴って創立され、世界で信頼性があり高品質でセキュアかつ使い勝手の良い技術製品とサービスを開発、製造、販売している。レノボの主要研究センターは日本の神奈川県大和と中国の北京、上海、深センおよび米ノースカロライナ州ローリーにある。詳細は<http://www.lenovo.com>を参照。

（了）